

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2008-507582(P2008-507582A)

【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-523664(P2007-523664)

【国際特許分類】

A 01 N	43/56	(2006.01)
A 01 N	25/02	(2006.01)
A 01 N	43/40	(2006.01)
A 01 N	43/707	(2006.01)
A 01 N	43/20	(2006.01)
A 01 N	47/34	(2006.01)
A 01 N	51/00	(2006.01)
A 01 N	47/40	(2006.01)
A 01 N	47/24	(2006.01)
A 01 N	35/10	(2006.01)
A 01 N	43/58	(2006.01)
A 01 N	63/02	(2006.01)
A 01 N	47/02	(2006.01)
A 01 N	43/88	(2006.01)
A 01 N	43/36	(2006.01)
A 01 N	57/16	(2006.01)
A 01 N	43/68	(2006.01)
A 01 N	47/12	(2006.01)
A 01 N	37/06	(2006.01)
A 01 N	47/38	(2006.01)
A 01 N	53/08	(2006.01)
A 01 N	37/34	(2006.01)
A 01 N	43/54	(2006.01)
A 01 N	37/28	(2006.01)
A 01 N	43/90	(2006.01)
A 01 P	7/04	(2006.01)

【F I】

A 01 N	43/56	D
A 01 N	25/02	
A 01 N	43/40	1 0 1 E
A 01 N	43/40	1 0 1 D
A 01 N	43/707	
A 01 N	43/20	
A 01 N	47/34	G
A 01 N	51/00	
A 01 N	47/40	Z
A 01 N	43/40	1 0 1 C
A 01 N	47/24	H
A 01 N	35/10	
A 01 N	43/58	B
A 01 N	63/02	P

A 0 1 N	47/02		
A 0 1 N	43/88	1 0 1	
A 0 1 N	43/36		A
A 0 1 N	57/16	1 0 2	B
A 0 1 N	43/68		
A 0 1 N	47/12		Z
A 0 1 N	37/06		
A 0 1 N	47/38		Z
A 0 1 N	47/24		J
A 0 1 N	53/00	5 0 8	B
A 0 1 N	47/24		Z
A 0 1 N	47/34		C
A 0 1 N	37/34	1 1 0	
A 0 1 N	43/54		F
A 0 1 N	37/28		
A 0 1 N	43/90	1 0 1	
A 0 1 P	7/04		

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年6月25日(2010.6.25)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

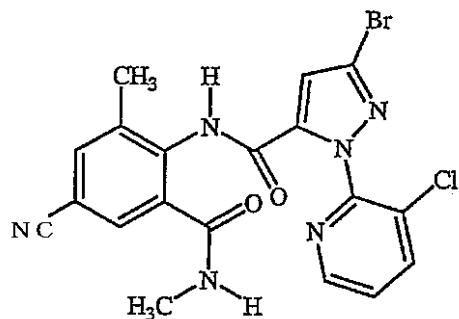
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

(a) 3-ブロモ-N-[4-シアノ-2-メチル-6-[(メチルアミノ)カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド(式1)、そのN-オキシドまたは塩

【化1】



1

と、

- (b) (b1) ネオニコチノイド；
- (b2) コリンエステラーゼ阻害剤；
- (b3) ナトリウムチャンネルモジュレーター；
- (b4) キチン合成阻害剤；
- (b5) エクジソン作動薬および拮抗薬；
- (b6) 脂質生合成阻害剤；
- (b7) 大環状ラクトン；
- (b8) GABA調節クロリドチャンネルブロッカー；

(b 9) 幼若ホルモン模倣品 (mimic) ;
 (b 10) 式1の化合物以外のリアノジン受容体配位子 ;
 (b 11) オクトパミン受容体配位子 ;
 (b 12) ミトコンドリア電子伝達阻害剤 ;
 (b 13) ネライストキシン類似体 ;
 (b 14) ピリダリル ;
 (b 15) フロニカミド ;
 (b 16) ピメトロジン ;
 (b 17) ジエルドリン ;
 (b 18) メタフルミゾン ;
 (b 19) 生物剤 ; および
 (b 1) ~ (b 18) の化合物の塩

よりなる群から選択される少なくとも1種の無脊椎有害生物防除剤とを含んでなる混合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

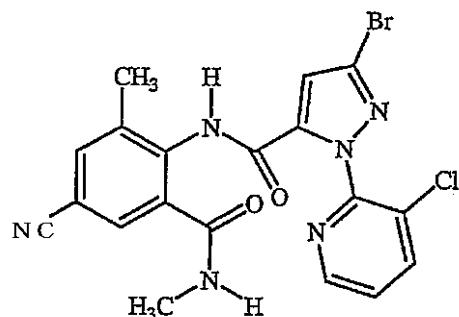
【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

【化2】



1

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0266

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0266】

【表18】

表2A

シルバーリーフコナジラミ					
化合物1 (ppm)	イミダクロブリ ド (ppm)	チアメトキサム (ppm)	比率 (b) : (a)	死亡率% (観察)	死亡率% (計算)
7	-	-	-	58	-
9	-	-	-	69	-
12	-	-	-	72	-
-	10	-	-	1	-
-	22	-	-	2	-
-	48	-	-	25	-
-	-	8.5	-	42	-
-	-	15	-	53	-
-	-	26	-	65	-
7	10	-	1.4:1	24	58
7	22	-	3.1:1	56	59
7	48	-	6.9:1	70	69
9	10	-	1.1:1	38	69
9	22	-	2.4:1	90	70
9	48	-	5.3:1	89	77
12	10	-	1:1:1.2	39	72
12	22	-	1.8:1	66	73
12	48	-	4:1	62	79
7	-	8.5	1.2:1	18	76
7	-	15	2.1:1	65	80
7	-	26	3.7:1	51	85
9	-	8.5	1:1.1	47	82
9	-	15	1.7:1	50	85
9	-	26	3.7:1	93	89
12	-	8.5	1:1.4	69	84
12	-	15	1.3:1	61	87
12	-	26	2.2:1	95	90

【誤訛訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 2 6 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 2 6 9】

【表 2 1】

シルバーリーフコナジラミ	率 (ppm)	死亡率% (obs)	率 (ppm)	死亡率% (obs)	率 (ppm)	死亡率% (obs)
ピメトロジン	10	3	100	7	1000	52
化合物 1 + ピメトロジン	7 + 10	65*	9 + 10	69*	12 + 10	99*
化合物 1 + ピメトロジン	7 + 100	61*	9 + 100	100*	12 + 100	98*
化合物 1 + ピメトロジン	7 + 1000	98*	9 + 1000	100*	12 + 1000	90*
ブプロフェジン	300	75	500	65	1000	96
化合物 1 + ブプロフェジン	7 + 300	57	9 + 300	99*	12 + 300	98*
化合物 1 + ブプロフェジン	7 + 500	93*	9 + 500	97*	12 + 500	96*
化合物 1 + ブプロフェジン	7 + 1000	99*	9 + 1000	100*	12 + 1000	98*
クロルフェナビル	10	6	100	14	1000	18
化合物 1 + クロルフェナビル	7 + 10	62*	9 + 10	83*	12 + 10	100*
化合物 1 + クロルフェナビル	7 + 100	61*	9 + 100	100*	12 + 100	96*
化合物 1 + クロルフェナビル	7 + 1000	90*	9 + 1000	81*	12 + 1000	97*
クロルピリホス	500	0	1000	0	2000	0
化合物 1 + クロルピリホス	7 + 500	24	9 + 500	69*	12 + 500	74*
化合物 1 + クロルピリホス	7 + 1000	68*	9 + 1000	54*	12 + 1000	95*
化合物 1 + クロルピリホス	7 + 2000	56*	9 + 2000	85*	12 + 2000	62
シロマジン	10	1	100	2	1000	2
化合物 1 + シロマジン	7 + 10	42*	9 + 10	84*	12 + 10	79*
化合物 1 + シロマジン	7 + 100	63*	9 + 100	75*	12 + 100	88*
化合物 1 + シロマジン	7 + 1000	51*	9 + 1000	66*	12 + 1000	91*
フェノキシカルブ	2	0	10	0	20	21
化合物 1 + フェノキシカルブ	7 + 2	60*	9 + 2	20	12 + 2	85*
化合物 1 + フェノキシカルブ	7 + 10	64*	9 + 10	52	12 + 10	50
化合物 1 + フェノキシカルブ	7 + 20	64*	9 + 20	56	12 + 20	47
メトブレン	500	11	1000	22	2000	60
化合物 1 + メトブレン	7 + 500	45*	9 + 500	77*	12 + 500	87*
化合物 1 + メトブレン	7 + 1000	100*	9 + 1000	100*	12 + 1000	100*
化合物 1 + メトブレン	7 + 2000	98*	9 + 2000	97*	12 + 2000	99*
インドキサカルブ	1	0	3	0	10	0
化合物 1 + インドキサカルブ	7 + 1	18	9 + 1	12	12 + 1	31
化合物 1 + インドキサカルブ	7 + 3	2	9 + 3	12	12 + 3	5
化合物 1 + インドキサカルブ	7 + 10	32*	9 + 10	13	12 + 10	41

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 3 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 3 1 9】

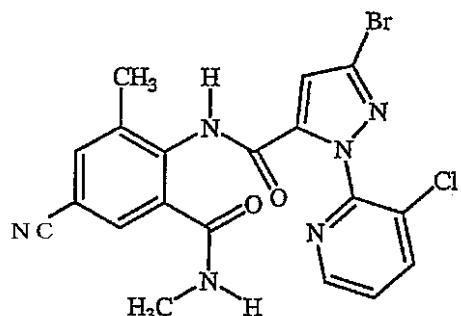
従って、本発明は改善された組成物のみならず、農業的および非農業的環境の両方における節足動物のような無脊椎有害生物の防除のためのそれらの使用方法も提供する。本発

明の組成物は無脊椎有害生物の高い防除効果を実証し；従って、殺節足動物剤としてのそれらの使用によって、作物生産コストおよび環境的負荷の減少が可能である。

なお、本発明の特徴および態様を要約すれば以下のとおりである。

1. (a) 3-ブロモ-N-[4-シアノ-2-メチル-6-[（メチルアミノ）カルボニル]フェニル]-1-(3-クロロ-2-ピリジニル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド（式1）、そのN-オキシドまたは塩

【化1】



1

と、

- (b) (b1) ネオニコチノイド；
- (b2) コリンエステラーゼ阻害剤；
- (b3) ナトリウムチャンネルモジュレーター；
- (b4) キチン合成阻害剤；
- (b5) エクジソン作動薬および拮抗薬；
- (b6) 脂質合成阻害剤；
- (b7) 大環状ラクトン；
- (b8) GABA調節クロリドチャンネルブロッカー；
- (b9) 幼若ホルモン模倣品（mimic）；
- (b10) 式1の化合物以外のリアノジン受容体配位子；
- (b11) オクトパミン受容体配位子；
- (b12) ミトコンドリア電子伝達阻害剤；
- (b13) ネライストキシン類似体；
- (b14) ピリダリル；
- (b15) フロニカミド；
- (b16) ピメトロジン；
- (b17) ジエルドリン；
- (b18) メタフルミゾン；
- (b19) 生物剤；および
- (b1)～(b18)の化合物の塩

よりなる群から選択される少なくとも1種の無脊椎有害生物防除剤とを含んでなる混合物。

2. 成分(b)が(b1)ネオニコチノイドから選択される化合物である上記1に記載の混合物。

3. 成分(b)がイミダクロプリドである上記2に記載の混合物。

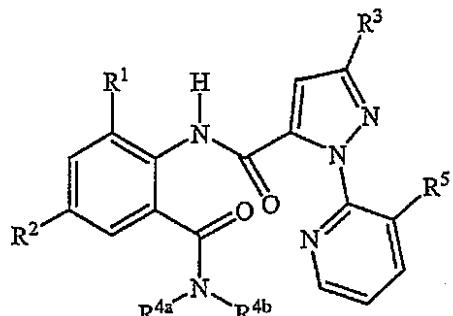
4. 成分(b)がチアメトキサムである上記2に記載の混合物。

5. 成分(b)がアセトアミプリド、ジノテフラン、イミダクロプリド、ニテンピラム、チアクロプリド、チアメトキサム、クロルピリホス、メトミル、オキサミル、チオジカルブ、トリアザメート、デルタメトリン、エスフェンバレート、インドキサカルブ、ラムダ-シハロトリル、ブロフェジン、シロマジン、ヘキサフルムロン、ルフェヌロン

、ノバルロン、メトキシフェノジド、テブフェノジド、アバメクチン、スピノサド、フィプロニル、フェノキシカルブ、メトブレン、ピリプロキシフェン、アミトラズ、クロルフェナピル、ヒドラメチルノン、ピリダベン、カルタブ、ピリダリル、フロニカミド、ピメトロジンおよびジエルドリンから選択される上記1に記載の混合物。

6. 成分(b)が式i

【化2】



i

[式中、

R¹はC₁H₃、F、ClまたはBrであり；

R²はF、Cl、Br、IまたはCF₃であり；

R³はCF₃、Cl、BrまたはOC₂H₂CF₃であり；

R^{4a}はC₁～C₄アルキルであり；

R^{4b}はHまたはCH₃であり；そして

R⁵はClまたはBrである]

の化合物またはその農業的に適する塩である上記1に記載の混合物。

7. 成分(b)が(b1)、(b2)、(b3)、(b4)、(b5)、(b6)、(b7)、(b8)、(b9)、(b10)、(b11)、(b12)、(b13)、(b14)、(b15)、(b16)、(b17)、(b18)および(b19)から選択される2つの異なる群の各々からの少なくとも1種の無脊椎有害生物防除剤(またはその塩)を含んでなる上記1に記載の混合物。

8. 上記1～7のいずれか1項に記載の混合物の生物学的に有効な量、ならびに界面活性剤、固体希釈剤および液体希釈剤よりなる群から選択される少なくとも1種の追加の成分を含んでなり、場合により少なくとも1種の追加の生物学的に活性な化合物または薬剤の有効量をさらに含んでなつてもよい無脊椎有害生物の防除のための組成物。

9. 成分(b)が(b1)ネオニコチノイドから選択される化合物であり、そして成分(b)対式1の化合物、そのN-オキシドまたは塩の重量比が50：1～1：50である上記8に記載の組成物。

10. 成分(b)が上記6に記載の化合物であり、そして成分(b)対式1の化合物、そのN-オキシドまたは塩の重量比が100：1～1：120である上記8に記載の組成物。

11. 土壌ドレンチ液体製剤の形態の上記8に記載の組成物。

12. 無脊椎有害生物またはその環境を上記1～7のいずれか1項に記載の混合物の生物学的に有効な量と接触させることを含んでなる無脊椎有害生物の防除方法。

13. 環境が土壌であり、そして混合物を含んでなる液体組成物を土壌ドレンチとして土壌に適用する上記12に記載の方法。

14. 無脊椎有害生物がシルバーリーフコナジラミ(silverleaf whitefly)(Bemisia argentifolii)である上記12に記載の方法。

15. 無脊椎有害生物がミカンキイロアザミウマ(western flower t

h r i p) (*Frankliniella occidentalis*) である上記 12 に記載の方法。

16. 無脊椎有害生物がジャガイモヒメヨコバイ (*potato leaf hopper*) (*Empoasca fabae*) である上記 12 に記載の方法。

17. 無脊椎有害生物がトウモロコシウンカ (*corn plant hopper*) (*Peregrinus maidis*) である上記 12 に記載の方法。

18. 無脊椎有害生物がワタアブラムシ (*cotton melon aphid*) (*Aphis gossypii*) である上記 12 に記載の方法。

19. 無脊椎有害生物がモモアカアブラムシ (*green peach aphid*) (*Myzus persicae*) である上記 12 に記載の方法。

20. 無脊椎有害生物がコナガ (*diamondback moth*) (*Plutella xylostella*) である上記 12 に記載の方法。

21. 上記 1 に記載の混合物および噴射剤を含んでなる噴霧組成物。

22. 上記 1 に記載の混合物、1種もしくはそれ以上の食物材料、場合により誘引剤、および場合により保湿剤を含んでなる餌料組成物。

23. 上記 22 に記載の餌料組成物および該餌料組成物を受け取るように構成されたハウジングを含んでなり、ハウジングがハウジングの外側の位置から無脊椎有害生物が該餌料組成物に接近することができるよう、無脊椎有害生物が開口を通過可能であるサイズにされた少なくとも 1 つの開口を有し、且つハウジングが無脊椎有害生物の潜在的または既知の活性位置にまたはその付近に配置されるようにさらに構成されている無脊椎有害生物の防除用トラップ装置。